

厚生労働科学研究費補助金（認知症政策研究事業）
分担研究報告書

認知症ケアチーム・病棟看護師に対する AI 支援システムの開発

研究分担者 上村恵一 国家公務員共済組合連合会 斗南病院 精神科 医長
谷向 仁 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 准教授
井上真一郎 岡山大学病院精神科神経科 助教
榎戸正則 国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科 医員

研究要旨 AI システム支援を導入した新たな認知症教育プログラムの開発を目的として開発した一般病棟での多職種による認知症対応教育研修プログラムについて、前年度はその効果を検証した。結果として、2 施設（市立札幌病院、筑波メディカルセンター）において、研修前と研修直後・3 か月後での、①認知症及びケアの知識の変化、②認知症ケアの自信の変化等について、いずれも有意な得点の上昇を認めた。今回、臨床的効果の予備的探索として、認知症対象プログラムを実施した看護師の所属する 2 病棟において、プログラム施行前後 3 ヶ月間に入退院した患者 1407 名を対象に DPC データを用いて抗精神病薬や抗不安薬・睡眠薬の処方割合などの評価を行った。今後、これらを指標として複数の病院でプログラムを実施し、さらなる検証をすすめたい。また、コロナ禍であることを考慮し、今後はオンラインでの研修プログラムを再構成していくことも検討していきたい。

A. 研究目的

一般病棟での多職種による認知症対応教育研修プログラムの効果検証を行い、その結果を基に、AI システム支援を導入した、新たな教育プログラムの開発と試行を行う。

B. 研究方法

すでに開発済みである認知症対応教育研修プログラムの効果検証として、2 施設（市立札幌病院、筑波メディカルセンター）でプログラムを実施し、その前後 3 ヶ月間に入院した患者 1407 名を対象として DPC の項目について評価を行い、有効性が示唆される項目の抽出を行う。

（倫理面への配慮）

医療者を対象とした教育プログラム開発であり、倫理面への配慮については問題ないものとする。

C. 研究結果

抗精神病薬の処方割合について、介入前が 6.3、介入後が 4.7 と減少しており、オッズ比は 0.71 であった。また、抗不安薬・睡眠薬の

処方割合は介入前が 28.6、介入後が 27.2 であり、オッズ比は 0.90 であった。

D. 考察

我々が開発した認知症対応教育研修プログラムは、少なくとも看護師を対象とした研修会において、知識および自信の点で効果が得られることが示されていたが、今回の臨床アウトカムの探索的な検討では、抗精神病薬や抗不安薬・睡眠薬の減少につながる事が示唆されており、看護師の対応力向上につながっている可能性がある。

今後、これらの適切な評価も含めて、研修会の開催施設をさらに増やして検討を行っていく必要がある。そして、研修後に有効と考えるプログラムの項目を詳細に検討し、AI による支援システムへの導入をすすめていく。

E. 結論

我々の開発した認知症対応教育研修プログラムは、看護師への知識と自信の向上、そして抗精神病薬や抗不安薬や睡眠薬の処方数減少につながっており、臨床現場での種々のア

ウトカム改善に有用と考えられる。

今後、多施設クラスターランダム化比較試験を予定していたが、コロナ禍でもあり、今後はオンラインでの研修プログラムなどの検討を行っていく方針である。

F. 健康危険情報

特記すべきことなし。

G. 研究発表

論文発表

1. 井上真一郎. せん妄の患者は痛みを「苦しい」と感じているのか
緩和ケア 30 (3) :177-178, 2020.
2. 井上真一郎. せん妄とは？－薬物療法の前提となる臨床事項
月刊薬事 62(8) : 1517-1523, 2020.
3. 井上真一郎, 谷向仁, 松田能宣ほか. せん妄の臨床研究からみた症例報告
精神科 37(2) : 185-191, 2020.
4. 上村 恵一. 人生の最終段階における薬物療法 精神疾患
薬事 62(14) :2732-2739, 2020
5. 上村 恵一. COVID19 感染症によるせん妄
緩和ケア 30(4) :265-269, 2020
6. 上村 恵一. コロナ禍での悲嘆のケアを考える～遺された家族と医療提供者の悲しみについて
エンド・オブ・ライフケア 4(3) :32-34, 2020
7. 上村 恵一. せん妄症状アセスメントと向精神薬の副作用モニタリング
薬事 62(8) :1525-1530, 2020

学会発表

1. 井上真一郎. 睡眠薬のポリファーマシー対策－専門外来の経験も含めて－
NPBPP 合同大会, 仙台(WEB), 2020. 8.
2. 井上真一郎. 一般急性期病院における認知症教育プログラムの内容と効果検証について, 第 116 回日本精神神経学会学術総会, 仙台(WEB), 2020
3. 井上真一郎. 慢性腰痛に対する集学的アプローチ, 第 28 回日本腰痛学会, 札幌(WEB), 2020
4. 井上真一郎. 精神症状の緩和 抑うつを中心に, 第 61 回日本肺癌学会学術集会,

岡山, 2020

5. 上村恵一. 緩和医療の decision making
がん治療医が知っておきたい抗精神病薬、抗うつ薬、抗不安薬、睡眠薬の選択
日本癌治療学会学術集会, 京都(WEB)
2020. 10

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
特記すべきことなし